



お知らせ

記者発表資料	平成26年 2月20日
配布日	

■同時発表先 : 岡山県政記者会
岡山市記者クラブ

百間川分流部の改築に向けて、第2回学識者委員会を開催します！

岡山河川事務所では、百間川への適正な分流と旭川下流地区・百間川全体の治水安全度の向上を図るとともに、洪水時における被災防止のため、百間川分流部を改築することとしています。

百間川分流部改築にあたり、整備計画の趣旨に則り、歴史的遺構である「一の荒手」・「二の荒手」の保全と共に分流部の治水機能を継承する具体的な保全方法及び施設構造等のとりまとめを行うにあたり、学識経験者から技術的助言をいただくことを目的として、下記のとおり開催いたします。

第2回は、歴史的遺構の保全方法（案）について助言をいただきます。

また、分流部の改築に向けては、後日、地域のみなさまからの声を反映する機会を設ける予定としております。

記

◆第2回 百間川分流部保全方策検討委員会

日時 : 平成26年2月27日（木） 10:00～12:00

場所 : 今在家防災ステーション（岡山市中消防署・水防センター）
3階 防災研修室

岡山市北区今在家地先 TEL 086-275-1119

※委員会は公開ですが、傍聴者席の座席数に限りがあり先着順となりますのでご了承ください。

※会議の報道等撮影は別紙1議事次第の「委員長挨拶」までとさせていただきます。

（問合せ先）

国土交通省中国地方整備局 岡山河川事務所 電話番号(086)223-5101（代表）

副 所 長 川島 明昌（かわしま あきまさ）（内線205）

調査設計課長 清水 信夫（しみず のぶお）（内線351）

第 2 回 百間川分流部保全方策検討委員会

議 事 次 第 (案)

日時 平成 26 年 2 月 27 日 (木)

午前 10 時～午前 12 時

場所 今在家河川防災ステーション

(岡山市中消防署・水防センター)

3 F 防災研修室

1. 開 会
2. 事務所長挨拶
3. 委員長挨拶
4. 議 事
 - (1) 第 1 回委員会まとめ
 - (2) 歴史的遺構の保全方法 (案) について
5. その他
6. 閉 会

日時:平成25年11月27日(水)

場所:今在家河川防災ステーション (岡山市中消防署・水防センター)

3F 防災研修室

- 委員会設立、前野委員長選出後、歴史的遺構である「一の荒手」・「二の荒手」の現地視察を行いました。
- 事業の概要、委員会の検討の進め方、分流部改築に伴う歴史的遺構の諸課題について事務局から説明を行い、委員の方からご助言をいただきました。

【主なご意見】

■ 建造物の記録について

- ・ 現況建造物の記録は必ず行い、高解像度の画像記録、3D計測等の技術も有効に活用して頂きたい。

■ 補強・施工について

- ・ 樹木の根が侵入し隙間が空いているところ（下流亀の甲等）は、そのまま残すことが不可能であるため、補強は必要と考える。
- ・ 現状の保存状態がよい箇所は、現状を残すことが可能な補強工法（セメントミルク注入工など）についても検討頂きたい。
- ・ 治水機能を有する遺構であり、治水機能を確保したうえで施設や仕組みを継承していくことが重要であるため、文化財としても治水上必要な保全（補強）方法に応じた対応は可能である。

■ 建造物の素材について

- ・ 荒手及びそれに隣接する建造物については、石を基調とした構造を検討願いたい。



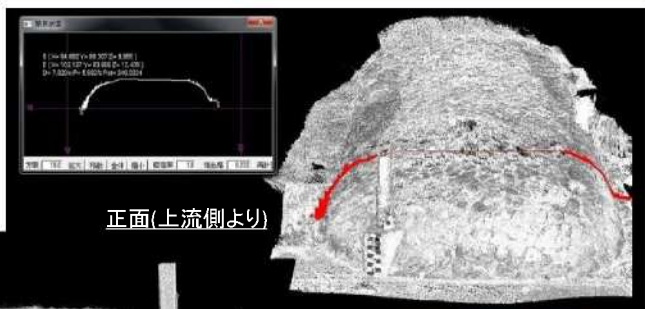
第1回委員会開催状況



現地視察状況

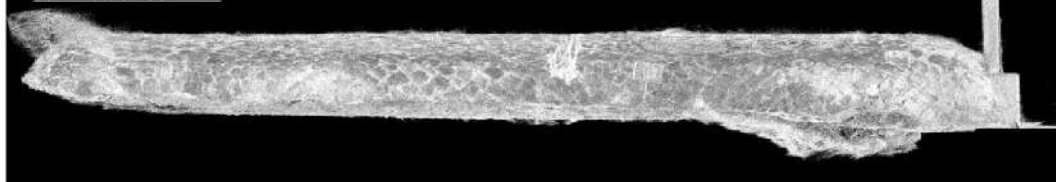
参考:3D(3次元レーザースキャナ)計測の結果

委員会後、下流亀の甲について、地上部の3次元レーザースキャナによる計測を実施しました。計測した各点がXYZ座標を持ち、任意の箇所の寸法、断面の切り出しが可能です。



正面(上流側より)

側面(百間川側より)



計測の様子

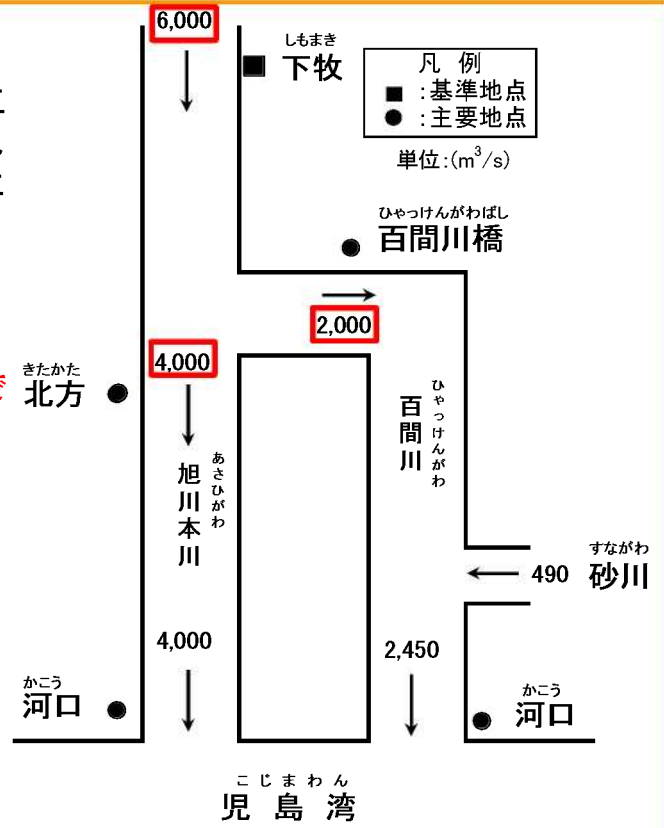
百間川への分流の現状

分流部は、旭川から百間川へ分流を開始する地点(三野)の水位が6.1mを越えると百間川へ分流を開始し、旭川の洪水流量のうち一定の量を百間川に分流し安全に流下させることで、旭川下流地区の岡山市街地を洪水被害から守ることを基本的な考え方としています。

現状で計画高水流量である6,000m³/sが旭川本川に流下した場合、本川の樹木繁茂により分流部の本川の水位が計画高水位を超過し、百間川に計画高水流量である2,000m³/s以上が分流します。



百間川分流部



河川整備基本方針の流量配分図(平成20年1月策定)

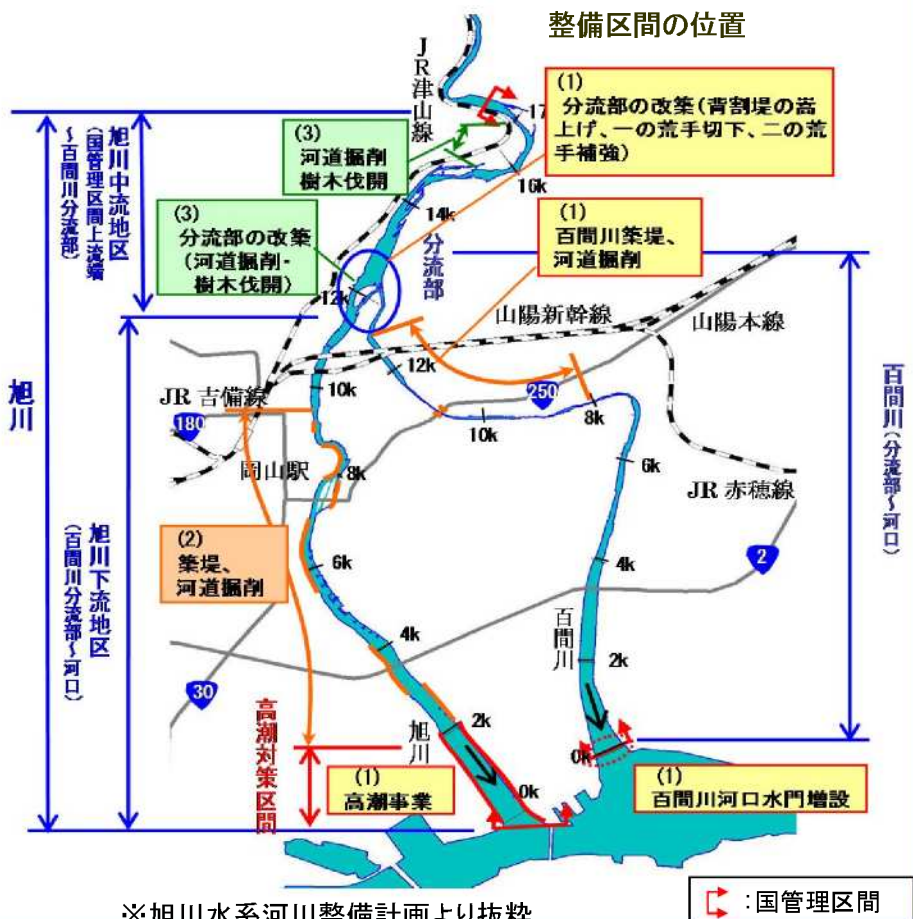
旭川水系河川整備計画【国管理区間】での位置付け

百間川への適正な分流と旭川下流地区・百間川全体の治水安全度の向上を図るとともに、洪水時における被災防止のため、以下のとおり分流部を改築します。

- ・一の荒手の切り下げと補強
- ・百間川の護床工等の設置と河道掘削
- ・背割堤の築堤(断面確保)
- ・二の荒手の補強
- ・旭川の樹木伐開と河道掘削

なお、改築にあたっては、歴史的遺構である一の荒手、二の荒手の保存および分流部の周辺環境に配慮し実施します。

旭川下流地区および百間川においては、昭和47年7月洪水が再び発生しても、浸水被害の防止または軽減が図られるとともに、旭川本川から百間川への適正な分流が可能となります。



※旭川水系河川整備計画より抜粋

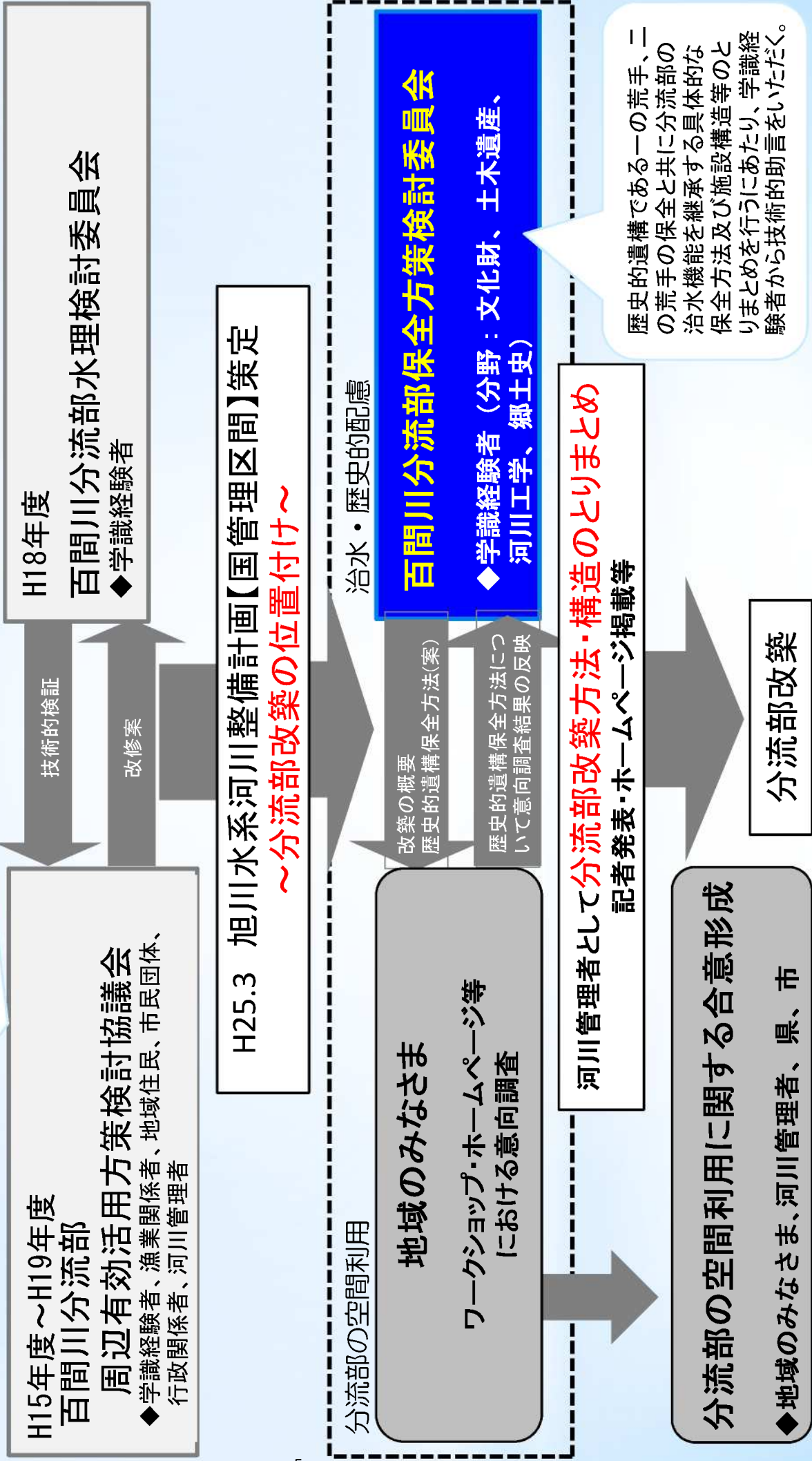
☞ : 国管理区間

委員会の位置付けと今後の予定(案)

別紙4

分流水部を改修するにあたり、分流水部を取り巻く現状(治水機能の継承、自然環境の適切な保全、既往の計画及び地域社会の要望等)を踏まえ、適切な整備・管理及び分流水部周辺の利活用方策について検討し、提言のとりまとめを行った。

百間川分流水部における水理解析及び水理模型実験により、一の荒手及び二の荒手保存の可能性について技術的に検証し、分流部の最適形状を検討した。



分流水部の空間利用

地域のみなさま
ワークショップ・ホームページ等
における意向調査

治水・歴史的配慮

百間川分流水部保全方策検討委員会

◆学識経験者（分野：文化財、土木遺産、河川工学、郷土史）

河川管理者として分流水部改築方法・構造のとりまとめ
記者発表・ホームページ掲載等

分流水部の空間利用に関する合意形成

◆地域のみなさま、河川管理者、県、市

分流水部改築

歴史的遺構である一の荒手、二の荒手の保全と共に分流水部の治水機能を継承する具体的な保全方法及び施設構造等とのとりまとめを行うにあたり、学識経験者から技術的助言をいただく。

会場位置図



今在家河川防災ステーション（岡山市中消防署・水防センター）

3階 防災研修室

所在地：岡山市中区今在家地先

TEL086-275-1119

【お車でお越しの方へ】 裏手に駐車場がございます。



防災ステーション全景



岡山市中消防署・水防センター